

令和7年7月第1回市長定例記者会見

- ・日時 令和7年7月7日(月)
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 就職氷河期世代を対象とした職員採用試験（令和8年4月1日採用）を実施します（資料1）
- 2 取組部門と料理部門の「私の食品ロス削減アイデアコンテスト」を実施します（資料2）
- 3 渋川市20周年記念事業 親と子の環境学習会を開催します（資料3）
- 4 渋川市20周年記念事業 第42回日本のまんなか渋川へそ祭り「へそ踊りパレード」の参加団体を募集します（資料4）
- 5 第31回全国創作こけし美術展 in 渋川で展示する
創作こけし絵付けコンクールの作品を募集します（資料5）

その他資料提供

- ・令和7年度第1回渋川市総合教育会議を開催します（資料6）
- ・しぶかわ推し第1弾（料理・菓子）で新たに6品が認定されました（資料7）
- ・「Kirariしぶかわ」に掲載する有料広告を募集します（資料8）

○次回開催予定

日時：令和7年7月14日(月) 午後1時
場所：渋川市役所本庁舎2階 記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
7月7日(月)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:00	市長定例記者会見	市役所本庁舎	広報室
7月8日(火)	10:00	広域組合7月組合議会臨時会	勤労福祉センター	広域組合
7月9日(水)				
7月10日(木)	10:00	渋川市内部統制推進・評価会議	市役所本庁舎	総務課
	14:00	渋川地区防犯協会定期総会	渋川警察署	危機管理室
7月11日(金)	7:15	夏の県民交通安全運動車両広報	渋川地区	危機管理室
	9:45	渋川北群馬原水爆禁止国民平和大行進出発式	市役所第二庁舎	市民協働推進課
	13:30	群馬県市町村会館管理組合令和6年度決算監査	市役所本庁舎	秘書室
	19:00	渋川山車まつり実行委員会総会	市役所本庁舎	観光課
7月12日(土)				
7月13日(日)				
7月14日(月)	7:30	夏の県民交通安全運動車両広報	伊香保地区	危機管理室
	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:00	(株)アクティオとの災害時におけるレンタル資機材の提供に関する協定の締結式	市役所本庁舎	危機管理室
	終了後	市長定例記者会見	市役所本庁舎	広報室
	16:00	夏の県民交通安全運動一斉街頭指導	市民会館前	危機管理室

資料1

就職氷河期世代を対象とした 職員採用試験（令和8年4月1日採用）を実施します

渋川市は、令和元年度から実施している就職氷河期世代を対象とした市職員採用試験を、令和7年度も引き続き実施します。今回は、一般事務と自動車運転手の2職種の募集を行います。

1 概 要

就職氷河期世代とは、1990年代～2000年代の雇用環境が厳しい時期に就職活動を行った世代で、希望する就職ができず不安定な仕事に就いている方が多い世代です。国では、就職氷河期世代等支援について、就労・処遇改善に向けた支援など、従前以上に充実した支援に取り組むこととしています。

渋川市は、令和元年度から就職氷河期世代を対象とした職員採用試験を行ってきました。引き続き、令和7年度も就職氷河期世代の職員採用を進めていきます。

2 募集内容

（1）一般事務（就職氷河期世代）

- ①募集人数 若干名
- ②受験資格
 - ・昭和45年4月2日～昭和61年4月1日の間に生まれた人
 - ・高等学校卒業以上（各学校の令和8年3月卒業見込み者を含む）

（2）自動車運転手（就職氷河期世代）

- ①募集人数 若干名
- ②受験資格
 - ・昭和45年4月2日～昭和61年4月1日の間に生まれた人
 - ・高等学校卒業以上（各学校の令和8年3月卒業見込み者を含む）
 - ・大型自動車免許を有し、民間企業、公務職場等における役員等付運転手又はタクシー、ハイヤー、バス等の乗務経験が通算5年以上ある人

3 採用予定日 令和8年4月1日

4 職員採用試験の日程

- （1）募集要項公表 7月16日（水）
- （2）申込受付期間 7月16日（水）～8月1日（金）
- （3）第一次試験 9月21日（日）
- （4）第二次試験 10月中旬頃
- （5）第三次試験 11月中旬頃
- （6）最終合格発表 12月中旬頃

5 そ の 他

県内他市において、令和7年度に就職氷河期世代を含めた一般事務職の採用試験を実施するのは、前橋市・高崎市・藤岡市です。

なお、就職氷河期世代に特化した採用試験を実施しているのは、渋川市のみです。

参考

渋川市における就職氷河期世代の採用実績

※合計25人、()内は受験者数

- ①令和2年4月2日～令和3年4月1日採用者
 - ・一般事務 6人(263人)
 - ・土木技師 2人(9人)
 - ・建築技師 1人(10人)
- ②令和3年4月2日～令和4年4月1日採用者
 - ・一般事務 3人(57人)
- ③令和4年4月2日～令和5年4月1日採用者
 - ・一般事務 2人(45人)
- ④令和5年4月2日～令和6年4月1日採用者
 - ・一般事務 5人(39人)
 - ・土木技師 1人(1人)
 - ・建築技師 1人(1人)
- ⑤令和6年4月2日～令和7年4月1日採用者
 - ・一般事務 4人(24人)

■問い合わせ先

総務部 部長 星野 幸也(内線2100)

担当：人事課(電話0279-22-2362)

課長 照井 清豊(内線2111)

人事給与係長 高橋 幸徳(内線2115)

取組部門と料理部門の 「私の食品ロス削減アイデアコンテスト」を実施します

渋川市は、食品ロスの削減を「他人事」ではなく「自分事」として捉え、行動変容につなげることを目的として、「食品ロスを削減するために、私ができること」をテーマに、食品ロスの削減につながる取り組みと料理レシピを募集する『私の食品ロス削減アイデアコンテスト』を実施します。

1 概 要

渋川市は、食品ロスの削減を推進するため、令和3年4月から「渋川市もったいないの心を持って食品ロスの削減を推進する条例」を施行しました。また、令和5年には、「渋川市食品ロス削減推進計画」を策定しています。

令和7年度は、昨年度に引き続き「食品ロスを削減するために、私ができること」をテーマに、食品ロス削減のための取組事例と食品ロス削減料理レシピのアイデアを募集するコンテストを実施します。

実践内容やレシピを広く周知することで、自分にできることを考えてもらうきっかけにするとともに、市民に食品ロスの削減を「他人事」ではなく「自分事」として捉えてもらい、食品ロス削減に向けた行動変容につなげることを目的として実施するものです。

2 食品ロスの発生状況

食品ロスの発生は、食べものを無駄にしているだけではなく、食品ロスの廃棄に多額のごみ処理費がかかります。また、処理する際の二酸化炭素の排出増加により環境への影響があります。さらに、国においては、9人に1人の子どもが貧困であるとされ、日々の食事に困っている子どもも少なくない状況があることから、国は、食品ロスの削減を国民運動として位置付け、国、地方公共団体、事業者、消費者等の多様な主体の連携を図ることを目的として、「食品ロスの削減の推進に関する法律」を令和元年10月に施行しました。

国の食品ロス量は、事業者から231万トン、家庭から233万トン排出されており、年間464万トン（令和5年度推計値）の食品ロスが発生しています。

渋川市では、令和3年度に実施した家庭系食品ロス実態調査の結果に基づき、令和元年度、事業者から2,155トン、家庭から1,722トンの計3,877トンの食品ロスが発生していると推計しています。家庭系食品ロスに着目すると、この量は、各家庭が1日におにぎり1.5個を捨てている量に相当します。

3 募集部門

(1) 取組部門

食品ロス削減のために自身が行っている事例について、取り組みのタイトル（20字程度）と取り組むに当たって工夫した点（200字以内）を募集します。

(2) 料理部門

自身が実際に調理した食品ロス削減料理のタイトル（20字程度）と食品ロスの削減につながる点（200字以内）、料理レシピ（材料及び調理の手順を記載したもの）を募集します。

4 応募資格 渋川市内在住、在学及び在勤の人

5 応募条件

- (1) 応募者本人が取り組んだり、実際に調理した料理等であり、未発表で他のコンテストなどに応募していないもの
- (2) 応募者以外の被写体（人物、美術品、商標、建築物など）について、当該人や権利者の承諾を得ていること
- (3) 特定の企業名や商品名を出していないこと
- (4) 応募は一人1部門まで（複数応募可）

※他にも応募条件があります。詳しくは、市ホームページを確認してください

市ホームページはこちら▶



6 応募書類

- (1) 取組部門 指定の応募申込書及び応募様式に取り組みの様子が分かる写真を添付して提出先へ
- (2) 料理部門 指定の応募申込書及び応募様式に取り組みが分かる料理の写真とレシピを添付して提出先へ

※指定の応募申込書及び応募様式は、環境森林課または市ホームページにあります

7 提出方法

応募書類を、メール（kankyou@city.shibukawa.gunma.jp）、郵送（〒377-8501・渋川市石原80）または直接持参で環境森林課へ。

8 募集期間 令和7年7月19日（土）～8月25日（月）（必着）

9 賞

応募作品を審査し、各部門ごとの優秀作品に賞を贈ります

- (1) 最優秀賞1点＝渋Pay1万ポイント
- (2) 優秀賞4点以内＝渋Pay2,500ポイント

10 審査方法

渋川市食品ロス削減推進協議会委員等が審査を行います。

11 入賞作品の発表・活用

- (1) 入賞者及び作品は、令和7年10月以降に市ホームページで発表します
- (2) 入賞作品は、市ホームページへの掲載など、渋川市の食品ロス削減推進の取り組みに活用する予定です

12 周知方法

広報しぶかわ（7月1日号）、市ホームページ、市公式LINE、X（旧Twitter）、渋川市内各小中学校、高等学校などで周知します。

参考

1 令和6年度応募状況

- (1) 取組部門 4件
- (2) 料理部門 9件

2 令和6年度受賞作品

(1) 取組部門

ア 最優秀賞（1点：渋Pay10,000ポイント）

①タイトル「冷蔵庫の中の見える化で食品ロスを防ごう！」

内 容：冷蔵庫にある食品の消費期限を書き出し、食品の廃棄を減らしています
出品者：星 葉禾さん

イ 優秀賞（3点：渋Pay2,500ポイント）

①タイトル「週に一度はプチ家庭内菜園を使おう」

内 容：捨ててしまう野菜を繰り返し栽培し、料理に使っています
出品者：小林 哲彦さん

②タイトル「シールをためて食べのこしゼロ！」

内 容：買い物をする時に、賞味期限や消費期限が近い商品を買ったり、みんなが食べやすい料理を作ります
出品者：都丸 湖花さん

③タイトル「すてないで！分かれ道を探そう」

内 容：捨ててしまう野菜のへたを飼育物のえさにしています
出品者：都丸 湖花さん

(2) 料理部門

ア 最優秀賞（1点：渋Pay10,000ポイント）

①タイトル「もったいない大集合！リメイクケーキ」

内 容：もったいないを合言葉に、野菜の種、皮、芯を使ったケーキを作りました
出品者：後藤 裕子さん

イ 優秀賞（4点：渋Pay2,500ポイント）

①タイトル「おばけキュウリも鶏の皮も、もう捨てない！残り物オールスターズナムル」

内 容：捨ててしまう肉の皮と規格外野菜を使って、酒の肴を作りました
出品者：鈴木 堇さん

②タイトル「おばけ野菜達が大変身！食感が新鮮、おばけ茄子とおばけキュウリの鶏唐揚げ南蛮」

内 容：育ち過ぎてしまった野菜を使って、食感を楽しめる料理を作りました
出品者：鈴木 堇さん

③タイトル「主役級のおいしさ！余り物で作れる、食べるスープ」

内 容：家庭で余った肉や野菜を使って、風邪予防にもなるスープを作りました
出品者：濱田 千史さん

④タイトル「いろんな食材とひき肉でお手軽ドライカレー」

内 容：家庭にある使いかけの野菜を使って、煮込まないカレーを作りました
出品者：岩松 奈緒美さん

■問い合わせ先

市民環境部 部長 堀口 幸則（内線1100）

担当：環境森林課（電話0279-22-2114）

課長 入澤 仁（内線1140）

環境政策係長 小林 哲彦（内線1146）



■ 取組部門

■ 料理部門

最優秀賞

・ 渋谷Payプリペイドカード
1万ポイント

優秀賞

・ 渋谷Payプリペイドカード
2,500ポイント



私の食品ロス削減 アイデアコンテスト

応募期間 2025. 7. 19～8.25

概 要

- 応募資格：渋谷市内在住、在勤、在学
 - 参加費：無料
 - 応募方法：問合せ先にメール、郵送、環境森林課窓口のいずれかの方法で必要書類をご提出ください
- 

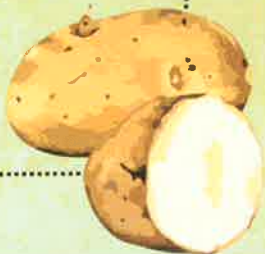
詳細は渋谷市公式ホームページをご覧ください▶



問合せ先

渋谷市市民環境部環境森林課
〒377-8501 渋谷市石原80番地
電話0279-22-2114
kankyou@city.shibukawa.gunma.jp

渋谷市



渋川市20周年記念事業 親と子の環境学習会を開催します

渋川市は、目指す環境像である「豊かな自然と多様な風土をみんなで守り育て未来へ継承するまち・しぶかわ」の実現に向け、小学生以下の子ども及び保護者を対象として、自然に親しみ、環境を大切にする心を育むため「親と子の環境学習会」を8月23日(土)に赤城自然園で開催します。

1 概 要

渋川市は、目指す環境像である「豊かな自然と多様な風土をみんなで守り育て未来へ継承するまち・しぶかわ」の実現に向け、自然に親しみ、環境を大切にする心を育むため、毎年「親と子の環境学習会」を開催しています。

今回の学習会は、赤城自然園を会場に、昆虫採集や昆虫観察などの体験を通して、身近な自然と触れ合う機会を提供します。

2 日 時 令和7年8月23日(土) 午前9時30分～11時30分

3 実施場所 赤城自然園(渋川市赤城町南赤城山892)

4 内 容

(1) 昆虫採集

赤城自然園の生活の森や池にすむ生き物を探して、虫取り網で捕まえます

(2) 昆虫観察

捕まえた生き物を観察し、スケッチをします

※生き物はイベント終了後に森や池に放ちます

5 講 師 赤城自然園スタッフ

6 対 象 者 小学生以下の子どもと市内在住または在勤の保護者

7 定 員 20人(抽選)

8 参 加 費 無料

9 申込方法 応募申込フォームまたは電話で環境森林課(電話0279-22-2114)へ申し込みください

応募申込フォームはこちら▶



10 申込期間 令和7年7月6日～21日(月)

11 その他

当日は、動きやすい服装で参加してください。また、長袖、長ズボン、長靴、帽子、軍手、雨具、飲み物、虫取り網、虫かごを持参してください。

参考

過去の赤城自然園における親と子の環境学習会実施状況

開催年度	開催日	内容	参加人数等
平成29年度	10月7日	「渡りチョウ」アサギマダラのマーキング体験	6組17人
平成30年度	10月6日	「渡りチョウ」アサギマダラのマーキング体験	13組43人
令和元年度	9月23日	「渡りチョウ」アサギマダラのマーキング体験	11組33人
令和2年度	9月22日	「渡りチョウ」アサギマダラのマーキング体験	10組27人
令和3年度	7月25日	昆虫探索	6組17人
令和4年度	9月25日	「渡りチョウ」アサギマダラのマーキング体験	3組10人
令和5年度	10月29日	園内散策、どんぐりポット製作体験	9組25人
令和6年度	8月31日	園内散策、昆虫採集	台風のため中止

■問い合わせ先

市民環境部 部長 堀口 幸則（内線1100）

担当：環境森林課（電話0279-22-2114）

課長 入澤 仁（内線1140）

環境政策係長 小林 哲彦（内線1146）

渋川市20周年記念事業

昆虫採集しよう!



親と子の環境学習会



開催場所 赤城自然園 生活の森

受付場所 赤城自然園 総合案内所

8月23日 (土) 9:30~11:30

※9:15集合 (時間厳守)

赤城自然園の生活の森で昆虫採集をし、
観察やスケッチを楽しみます。
森や池にすむ生き物を探して虫とり網で
捕まえてみましょう!
イベントの最後には、昆虫たちを優しく
森へ放してくださいね。

○持ち物:あみ、かご、帽子、軍手、雨具、飲み物

○動きやすい服装 (長袖、長ズボン、長ぐつ持参)



問合せ・申込先

渋川市環境森林課

申込期間:7月6日(日)から7月21日(月)まで

参加費:無料

対象者:小学生以下の子どもとその保護者(市内在住・在勤)

定員:20名(抽選)

☎:0279-22-2114



詳細・申込は

こちらから



資料4

渋川市20周年記念事業 第42回日本のまんなか渋川へそ祭り 「へそ踊りパレード」の参加団体を募集します

第42回日本のまんなか渋川へそ祭りは、熱中症対策のため、今年も9月第1週土曜日の9月6日(土)に開催します。

メインイベントの「へそ踊りパレード」に参加して、「渋川へそ祭り」を盛り上げてくれる団体を募集します。

1 目 的

「日本のまんなか渋川へそ祭り」は、お腹に絵を描いて踊るユニークな祭りとして各種メディアでも紹介されており、今年で42回目を迎えます。

この祭りを盛り上げるため、メインイベントである「へそ踊りパレード」の参加団体を広く募集します。

- 2 日 時 令和7年9月6日(土)
へそ踊りパレードは、午後6時～午後8時(予定・雨天中止)
※渋川へそ祭りの開催時間は、午後1時～午後9時(予定)

- 3 会 場 新町五差路周辺

4 募集内容

次の3種類の踊りでパレードに参加する団体を募集します。

踊りごとに優秀踊り団体を表彰する「踊りコンテスト」を実施する予定です。

(1) はら踊り

お腹に顔の絵を描いて、ステップしながら行進する踊りです。踊りに必要な笠や手型などは貸し出しますが、法被など各自で準備していただくものもあります。

(2) 浴衣踊り

浴衣を着用し、おそろいの振り付けで踊りながら行進します。

(3) 自由踊り

衣装も振り付けも自由に踊りながら行進します。

- 5 募集期間 令和7年7月1日～25日(金)

6 参加申込

参加申込書による事前申込みが必要です。

参加申込書は、渋川商工会議所、観光課、各行政センター、各公民館に設置します。また、市ホームページからも入手可能です。必要事項を記入のうえ、募集期間内に、渋川へそ祭り実行委員会事務局(渋川商工会議所内)へ提出してください。

参考

洪川へそ祭り過去の開催日及び参加者数

回数（開催年度）	開催日	参加者数	観客数
第1回（昭和59年度）	7月23日、24日	1,500人	不明
第2回（昭和60年度）	7月22日、23日	2,786人	不明
第3回（昭和61年度）	7月21日、22日	不明	不明
第4回（昭和62年度）	7月22日、23日	2,990人	不明
第5回（昭和63年度）	7月25日、26日	3,020人	不明
第6回（平成元年度）	7月23日、24日	2,600人	不明
第7回（平成2年度）	7月22日、23日	不明	不明
第8回（平成3年度）	7月21日、22日	不明	不明
第9回（平成4年度）	7月27日、28日	3,000人	150,000人
第10回（平成5年度）	7月25日、26日	2,546人	不明
第11回（平成6年度）	7月25日、26日	2,350人	不明
第12回（平成7年度）	7月25日、26日	1,681人	不明
第13回（平成8年度）	7月25日、26日	1,680人	不明
第14回（平成9年度）	7月25日、26日	1,741人	不明
第15回（平成10年度）	7月24日、25日	1,536人	不明
第16回（平成11年度）	7月23日、24日	1,670人	不明
第17回（平成12年度）	7月21日、22日	1,548人	65,000人
第18回（平成13年度）	7月27日、28日	1,593人	65,000人
第19回（平成14年度）	7月26日、27日	1,514人	75,000人
第20回（平成15年度）	7月25日、26日	1,181人	60,000人
第21回（平成16年度）	7月23日、24日	1,360人	70,000人
第22回（平成17年度）	7月22日、23日	1,308人	75,000人
第23回（平成18年度）	7月21日、22日	1,283人	70,000人
第24回（平成19年度）	7月27日、28日	1,298人	75,000人
第25回（平成20年度）	7月25日、26日	1,285人	70,000人
第26回（平成21年度）	7月24日、25日	1,308人	75,000人
第27回（平成22年度）	7月23日、24日	1,407人	70,000人
第28回（平成23年度）	7月23日	900人	50,000人
第29回（平成24年度）	7月28日	938人	50,000人
第30回（平成25年度）	7月27日	864人	45,000人
第31回（平成26年度）	7月26日	760人	52,000人
第32回（平成27年度）	7月25日	863人	60,000人
第33回（平成28年度）	7月23日	751人	70,000人
第34回（平成29年度）	7月22日	822人	75,000人
第35回（平成30年度）	7月21日	690人	70,000人
第36回（令和元年度）	7月27日	690人	76,000人
第37回（令和2年度）	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		
第38回（令和3年度）	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		
第39回（令和4年度）	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		
第40回（令和5年度）	7月29日	406人	75,000人
第41回（令和6年度）	9月7日	491人	77,000人

■問い合わせ先

産業観光部 部長 柴田 宏（内線4899）

担当：観光課（電話0279-22-2873）

課長 高橋 巧（内線4880）

観光振興係長 藤井 隆（内線4881）

第31回全国創作こけし美術展 in 渋川で展示する 創作こけし絵付けコンクールの作品を募集します

創作こけしを身近に感じてもらうことを目的として、絵付けしたオリジナルこけしを募集します。募集した作品は、10月に開催する「渋川市20周年記念事業 第31回全国創作こけし美術展in渋川」の企画展で展示します。

1 目 的

渋川市の伝統である「創作こけし」を身近に感じてもらい、渋川市の伝統工芸の理解を深めてもらうことを目的として公募形式で作品を募集します。

応募作品は、全て「渋川市20周年記念事業 第31回全国創作こけし美術展in渋川」の期間中に特設コーナーを設けて展示します。また、審査の結果、優秀な作品については賞状を贈呈します。

2 募集テーマ

- ・自由（既にあるキャラクターは除く）
- ・今回は、渋川市20周年を記念し、渋川の自然や風景、地域のお祭り、特産物等、渋川への思いを表現した作品も併せて募集します。

3 応募資格

- （1）小中学生の部＝小中学生（窓口で木地の受け取り・提出ができる人）
- （2）一般の部＝高校生以上（窓口で木地の受け取り・提出ができる人）

4 応募方法

配布期間内に生涯学習課で作品の木地を受け取り、令和7年8月25日(月)までに絵付けした作品を生涯学習課へ提出してもらいます。

※作品に使用する画材等は自由です

5 木地の配布期間

令和7年7月11日(金)～8月15日(金)

※土・日曜日、祝日を除く午前8時30分～午後5時15分

6 募集人数、応募点数

先着100人（1人1点まで）

7 参 加 料

1人500円

※参加料と引き換えに木地をお渡しします

8 賞

審査の結果、優秀な作品を表彰します。

- （1）渋川市長賞、渋川市議会議長賞、渋川市副市長賞、渋川市教育委員会教育長賞、渋川こけし人形会長賞＝各部門ごとに1点
- （2）奨励賞＝各部門ごとに7点
- （3）渋川市20周年記念賞＝各部門ごとに1点

※上記（1）（2）とは別に表彰するため、同時受賞の場合もあります。

9 入賞者の発表

入賞者については令和7年10月中旬までに市ホームページで発表するほか、直接通知します。入賞者以外には通知しません。

10 作品の展示について

(1) 展示期間及び会場

- ・期間：令和7年10月29日(水)～11月4日(火)
- ・会場：渋川市民会館1階小ホールホワイエ（渋川市渋川2795番地）

(2) その他

受賞作品（奨励賞を除く）は、全国創作こけし美術展in渋川終了後、渋川創作こけしギャラリー（渋川市渋川1832番地27 渋川駅前プラザ2階）での展示を予定しています。（期日未定。担当：産業観光部産業政策課）

参考

1 渋川市20周年記念事業 第31回全国創作こけし美術展in渋川

- (1) 日 時 令和7年10月29日(水)～11月4日(火)
午前9時30分～午後4時（入場は午後3時30分まで）
※最終日は午後3時（入場は午後2時30分まで）
※開催式典：10月29日(水) 午前10時30分～午前11時
- (2) 会 場 渋川市民会館 小ホール
- (3) 入 場 料 無料

2 令和6年度の応募状況（全体の応募者数：86人）

- (1) 小中学生の部：49人
(2) 一般の部：37人



▲令和6年度渋川市長賞受賞作品
（小中学校の部）
「平和の奇術師」



▲令和6年度渋川市長賞受賞作品
（一般の部）
「白昼夢」

■問い合わせ先

教育部 部長 西脇 正悟（内線4930）
担当：生涯学習課（電話0279-22-2500）
課長 照井 智子（内線4950）
生涯学習係長 村尾 洋明（内線4954）

資料6

令和7年度第1回渋川市総合教育会議を開催します

市と教育委員会が相互連携を図り、教育行政の方向性を共有するため、7月17日(木)に令和7年度第1回渋川市総合教育会議を開催します。

1 概 要

総合教育会議は、市と教育委員会が相互連携を図り、教育に関する課題や取組等について協議をし、教育行政の方向性を共有するための会議です。

会議の様子はどなたでも傍聴することができます。

2 日 時 令和7年7月17日(木) 午前10時～正午(予定)

3 会 場 渋川市役所本庁舎3階 大会議室

4 議 題

- ・不登校対策と学校における居場所づくりについて
- ・渋川市立小中学校適正規模・適正配置基本方針について

5 会議の傍聴について

事前に下記事務局まで連絡してください。

6 出席予定者

市長、教育長、教育長職務代理者、教育委員

7 事 務 局 総合戦略部政策戦略課(電話0279-25-8554)

参考

1 総合教育会議とは

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律(平成26年法律第76号)」が改正(平成27年4月1日施行)されました。

この法律の中で、地方公共団体の長と教育委員会との連携の強化を目的とした「総合教育会議」を設けることと規定されています。

2 過去の開催状況

年 度	回 数	議 題
平成31年度 (令和元年度)	第1回 (4月)	・新年度予算について ・新年度組織機構の見直しについて ・公立幼稚園・保育所の認定こども園化について ・小規模特認校について
	第2回 (10月)	・平成30年度決算概要報告 ・ふるさと渋川学生奨励金制度（案）について ・コミュニティスクールについて
令和2年度	—	—
令和3年度	第1回 (8月)	・コミュニティスクールについて ・今後の国際理解教育のあり方について ・ヤングケアラーについて
令和4年度	第1回 (6月)	・渋川市教育振興大綱策定方針（案）について ・コミュニティ・スクールについて ・小中一貫教育について
	第2回 (11月)	・第3期渋川市教育振興大綱（案）について ・ヤングケアラーについて
	第3回 (1月)	・第3期渋川市教育振興大綱（案）について ・コミュニティ・スクールについて ・公民館の今後のあり方について
令和5年度	第1回 (7月)	・渋川市が進める特色ある教育について ・市民に開かれた美術館のあり方について
	第2回 (1月)	・部活動の地域移行に係る現状と課題について ・公立幼稚園等の現状と課題について
令和6年度	第1回 (7月)	・食育の推進と学校給食について ・渋川市の特色ある英語教育の推進について ・ヒメギフチョウの現状と保護活動について
	第2回 (2月)	・図書館の特色ある取り組みについて ・新美術館としての成果と今後について ・部活動の地域移行に係る現状について

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：政策戦略課（電話0279-25-8554）

課長 小野 篤史（内線2420）

政策推進係長 樺澤 華一（内線2422）

資料7

しぶかわ推し第1弾（料理・菓子）で 新たに6品が認定されました

渋川市は、「これぞ渋川」と市内外に自慢できるモノを「しぶかわ推し」として認定しており、現在、第1弾（料理・菓子）を募集しています。

この度、SNSでの「いいね」を集め、しぶかわ推し認定審査会の審査を経て、新たに6品が「しぶかわ推し」として認定されました。

今回の認定を含めて、16品が「しぶかわ推し」として認定されています。

1 概 要

渋川市は、市内にある地域資源や飲食物等の魅力を、シビックプライド及びシティブランドとして醸成し、市のプロモーション及び地域経済の活性化のため、市内の魅力あるものを募集し、「しぶかわ推し」として認定しています。

現在、第1弾として（料理・菓子）を募集しており、令和7年7月1日現在で「しぶかわ推し」候補として41品の応募がありました。これまでに、そのうちの10品が「しぶかわ推し」として認定されています。この度、新たに6品がSNSでの「いいね」を集め、しぶかわ推し認定審査会の審査を経て、「しぶかわ推し」として認定されました。

今後、認証された「しぶかわ推し」を、市公式インスタグラムへ投稿したり、市公式YouTubeで配信したりするなど、「市民が薦める市の宝」としてPRし、市の魅力度向上と地域経済の活性化につなげていきます。

2 新たな「しぶかわ推し（6月25日認定）」

ぷるりん (ぷるりんカフェ・伊香保町伊香保) 	赤城田舎まんじゅう (荒井商店・赤城町敷島) 	こんにゃくから揚げ (グルメ亭・北牧) 
カボチャのクリームソースオムライス (Lita blanc・上白井) 	とんかつ定食Bランチ (渋川食堂・石原) 	たつま定食 (お食事処辰磨・赤城町上三原田) 

(1) しぶかわ推し候補

- ### 参考

応募41品（うち認定16品、候補25品）

①ホルモン井 ((有)マルフクストアー)

- ※しぶかわ推しのホームページはこちらから▶



(1) 募集内容

※現在、募集している第1弾（料理・菓子）に限定せず、今後募集を予定している景観などを含めて、渋川市をイメージできるデザイン

- (2) 募集期間 令和7年6月2日～7月31日(木) 午後5時必着

総合戦略部 部長 鴻田 吉史 (内線2410)

担当：広報室（電話0279-22-2182）

室長 熊迫 徳三 (内線2419)

シティブランド発信係長 坂本 和馬 (内線2416)

「Kirariしぶかわ」に掲載する有料広告を募集します

渋川市は、渋川市の魅力や最も旬な情報を掲載し、広く発信する情報誌「Kirariしぶかわ」第7号を発行します。

この情報誌に掲載する有料広告を募集します。

1 概 要

渋川市は、市の魅力や最も旬な情報を掲載し、手にした人が渋川市内の訪問先を選ぶ際の参考となる情報誌「Kirari(キラリ)しぶかわ」を毎年1回発行しています。

令和7年10月に発行を予定している「Kirariしぶかわ」第7号に掲載する有料広告を募集します。

2 「Kirariしぶかわ」第7号の発行概要

- (1) 発行回数 年1回
- (2) 発行時期 令和7年10月上旬
- (3) 発行部数 1万5,000部
- (4) 主な内容 渋川市20周年特集、イベント情報など（予定）
- (5) 配布先 市内各公共施設・観光施設、市内外観光情報案内所、渋川市出身県外在住者など

3 広告の募集内容

- (1) 募集対象 企業や個人事業者、商店街などの連合体など
※申込者および掲載できる広告には要件があります
- (2) 掲載位置 「Kirariしぶかわ」全8ページの表紙を除く中面および裏表紙の一部
- (3) 広告規格 縦4.9cm×横9.1cmのカラー刷り
- (4) 募集枠数 ①中面掲載＝8枠 ②裏表紙掲載＝2枠
※いずれも先着順。1申込者につき2枠まで
- (5) 掲載料(1枠) ①中面掲載＝2万5,000円 ②裏表紙掲載＝4万円
- (6) 申込方法 「渋川市情報誌広告掲載申込書」(広報室にあります)に必要事項を記入し、広報室へ郵送(〒377-8501・渋川市石原80)または持参するか、電子申請受付システムから申し込みができます
※申請書は、市ホームページから印刷できます
- (7) 申込期限 令和7年9月5日(金)(必着)

参考

「Kirariしぶかわ」過去の特集テーマ

- ・第1号：日本のまんなか
- ・第2号：創作こけし
- ・第3号：渋谷駅開業100周年
- ・第4号：アルテナード
- ・第5号：渋谷パワースポット探訪
- ・第6号 渋谷市ロケ地めぐり

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：広報室（電話0279-22-2182）

室長 熊迫 徳三（内線2419）

シティブランド発信係長 坂本 和馬（内線2416）